



平成 23 年 3 月期 第 1 四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成 22 年 7 月 28 日

上場会社名 株式会社 関西アーバン銀行 上場取引所 東・大
 コード番号 8545 URL <http://www.kansaiurban.co.jp>
 代表者 (役職名) 頭取 (氏名) 北 幸二
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 財務企画部長 (氏名) 正岡 重哉 (TEL) 06(6281)7000
 四半期報告書提出予定日 平成 22 年 7 月 28 日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満、小数点第 1 位未満は切捨て)

1. 平成 23 年 3 月期第 1 四半期の連結業績 (平成 22 年 4 月 1 日～平成 22 年 6 月 30 日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	経常収益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23 年 3 月期第 1 四半期	28,068	11.8	4,964	—	3,944	—
22 年 3 月期第 1 四半期	25,095	△10.4	△845	—	100	△75.0

	1 株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23 年 3 月期第 1 四半期	5.36	4.09
22 年 3 月期第 1 四半期	0.15	0.15

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1 株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23 年 3 月期第 1 四半期	4,331,405	145,547	2.6	109.78
22 年 3 月期	4,348,213	142,376	2.6	103.63

(参考) 自己資本 23 年 3 月期第 1 四半期 116,234 百万円 22 年 3 月期 113,400 百万円

(注 1) 「自己資本比率」は、(期末純資産の部合計－期末新株予約権－期末少数株主持分)を期末資産の部の合計で除した比率であり、「銀行法第 14 条の 2 の規定に基づき、銀行がその保有する資産等に照らし自己資本の充実の状況が適当であるかどうかを判断するための基準(平成 18 年金融庁告示第 19 号)」に基づいて算出する連結自己資本比率ではありません。

(注 2) 「銀行法第 14 条の 2 の規定に基づき、銀行がその保有する資産等に照らし自己資本の充実の状況が適当であるかどうかを判断するための基準(平成 18 年金融庁告示第 19 号)」に基づいて算出する連結自己資本比率(国内基準)は 9.36%です。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第 1 四半期末	第 2 四半期末	第 3 四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22 年 3 月期	—	—	—	3.00	3.00
23 年 3 月期	—	—	—	—	—
23 年 3 月期(予想)	—	—	—	3.00	3.00

(注 1) 当四半期における配当予想の修正有無 : 無

(注 2) 上記「配当の状況」は普通株式に係る配当の状況です。種類株式の状況については、「種類株式の配当の状況」をご覧ください。

3. 平成 23 年 3 月期の連結業績予想 (平成 22 年 4 月 1 日～平成 23 年 3 月 31 日)

(%表示は、通期は対前期、第 2 四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	経常収益		経常利益		当期純利益		1 株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
第 2 四半期(累計)	62,000	24.3	2,000	—	1,000	—	1.36	
通期	125,000	26.0	5,000	—	2,000	—	0.54	

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 : 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P.4「2. その他の情報」をご覧ください。）

- (1) 当四半期中における重要な子会社の異動 : 無
新規 一社 (社名 —)、除外 一社 (社名 —)

(注) 当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

- (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 : 有

(注) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

- (3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 : 有

② ①以外の変更 : 無

(注) 「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

- (4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

23年3月期第1四半期	737,918,913株	22年3月期	737,918,913株
23年3月期第1四半期	2,778,433株	22年3月期	2,769,238株
23年3月期第1四半期	735,143,399株	22年3月期第1四半期	633,668,033株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 本資料には、将来の業績に関する記述が含まれております。こうした記述は、将来の業績を保証するものではなく、リスクと不確実性を内包するものです。将来の業績は、経営環境に関する前提条件の変化等に伴い、予想対比変化し得ることにご留意ください。

○種類株式の配当の状況

普通株式とは権利関係の異なる種類株式に係る1株当たりの配当金の内訳は、以下のとおりです。

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1 四半期末	第2 四半期末	第3 四半期末	期末	合計
第一回甲種優先株式	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	—	—	33.28	33.28
23年3月期	—				
23年3月期 (予想)		—	—	31.59	31.59
第二回甲種優先株式	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	—	—	33.28	33.28
23年3月期	—				
23年3月期 (予想)		—	—	31.59	31.59

(注) 第一回甲種優先株式及び第二回甲種優先株式の配当金は、各々の発行価格に配当率(6ヵ月 円 LIBOR+3.50%)を乗じて算出することとなり、上記1株当たり配当金は配当金額を1株当たりの金額に引き直したものであります。

【参考】指標算式

○1株当たり予想当期純利益

予想当期純利益 - 予想優先株式配当金総額

予想期中平均普通株式数 (除く自己株式)

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	4
(1) 重要な子会社の異動の概要	4
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	4
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) セグメント情報等	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10
4. 補足資料	11

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

①単体

単体の経営成績につきましては、貸出金利息が増加したこと等により、資金利益が前年同期間比 36 億 8 百万円増加、投資信託・年金保険の販売額増加等を要因に役務取引等利益が前年同期間比 6 億 89 百万円増加したことにより、国債等債券損益を除いた業務粗利益は前年同期間比 41 億 82 百万円増加の 172 億 6 百万円となりました。一方、経費（除く臨時処理分・のれん償却）が前年同期間比 30 億 17 百万円増加したこと、国債等債券損益が前年同期間比 11 億 72 百万円減少したこと等により、実質業純（一般貸倒引当金繰入前・のれん償却前）は 62 億 11 百万円と前年同期間比 7 百万円の減少となりました。実質業純（一般貸倒引当金繰入前・のれん償却前）から国債等債券損益を除いたコア業務純益は 63 億 83 百万円と前年同期間比 11 億 65 百万円の増加となりました。

また、一般貸倒引当金繰入額を含む与信関係費用は、前年同期間比 55 億 50 百万円減少の 11 億 12 百万円となりました。

これらの結果、経常利益は前年同期間比 51 億 24 百万円増加の 44 億 1 百万円、四半期純利益は前年同期間比 33 億 11 百万円増加の 37 億 89 百万円となりました。

【単体】

(単位：百万円)

	平成 23 年 3 月期		平成 22 年 3 月期 第 1 四半期	(参考) 平成 22 年 3 月期
	第 1 四半期	前年同四半期比		
業務粗利益 (除く国債等債券損益)	17,034 (17,206)	3,009 (4,182)	14,024 (13,024)	57,439 (54,798)
資金利益	16,979	3,608	13,370	54,891
役務取引等利益	185	689	△503	△1,002
その他業務利益 (うち国債等債券損益)	△130 (△172)	△1,288 (△1,172)	1,157 (1,000)	3,550 (2,640)
経費(除く臨時処理分・のれん償却)	△10,822	△3,017	△7,805	△33,678
実質業純 (一般貸倒引当金繰入前・のれん償却前)	6,211	△7	6,218	23,761
コア業純(除く国債等債券損益)	6,383	1,165	5,218	21,120
のれん償却額	△184	△184	—	△61
一般貸倒引当金繰入額①	△2,422	△2,537	114	△336
業務純益	3,604	△2,728	6,333	23,363
不良債権処理額②	1,309	8,087	△6,777	△59,434
経常利益(△は経常損失)	4,401	5,124	△723	△37,779
四半期(当期)純利益 (△は当期純損失)	3,789	3,311	477	△21,687
与信関係費用(① + ②)	△1,112	5,550	△6,663	△59,771

(注) 1. 平成 22 年 3 月 1 日に株式会社関西アーバン銀行は、株式会社びわこ銀行と合併いたしました。平成 22 年 3 月期第 1 四半期の株式会社関西アーバン銀行と株式会社びわこ銀行の単純合算計数との比較を、『平成 23 年 3 月期「第 1 四半期決算短信」補足資料』に記載しております。

2. 損失又は減益には△を付しております。

②連結

連結の経営成績は、主に単体の経営成績を反映して連結粗利益が前年同期間比 31 億 94 百万円増加の 192 億 88 百万円となりました。また、与信関係費用が前年同期間比 61 億 86 百万円減少の 20 億 44 百万円となったこと等により、経常利益は前年同期間比 58 億 9 百万円増加の 49 億 64 百万円、四半期純利益は前年同期間比 38 億 43 百万円増加の 39 億 44 百万円となりました。

【連結】

(単位：百万円)

	平成 23 年 3 月期		平成 22 年 3 月期	(参考) 平成 22 年 3 月期
	第 1 四半期	前年同四半期比	第 1 四半期	
連結粗利益	19,288	3,194	16,093	65,766
営業経費	△11,868	△3,307	△8,560	△36,926
与信関係費用	△2,044	6,186	△8,230	△67,168
経常利益(△は経常損失)	4,964	5,809	△845	△39,290
四半期(当期)純利益 (△は当期純損失)	3,944	3,843	100	△24,125

(注) 1. 平成 22 年 3 月 1 日に株式会社関西アーバン銀行は、株式会社びわこ銀行と合併いたしました。平成 22 年 3 月期第 1 四半期の株式会社関西アーバン銀行と株式会社びわこ銀行の単純合算計数との比較を、『平成 23 年 3 月期「第 1 四半期決算短信」補足資料』に記載しております。

2. 損失又は減益には△を付しております。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①総資産額、純資産額

当第 1 四半期末における総資産額は、前年度末比 168 億円減少し 4 兆 3,314 億円、純資産額は前年度末比 31 億円増加し 1,455 億円となりました。

主要な勘定としましては、預金が前年度末比 565 億円増加の 3 兆 9,055 億円、貸出金が前年度末比 43 億円減少の 3 兆 4,925 億円となりました。

②自己資本比率(国内基準)

連結自己資本比率は 9.36%(前年度末比+0.28%)、単体自己資本比率は 9.56%(前年度末比+0.27%)となりました。

③金融再生法開示債権(単体)

金融再生法開示債権残高(単体)は、前年度末比 132 億円減少の 1,385 億円となり、開示債権比率は前年度末比 0.36%減少の 3.93%となりました。

④有価証券の評価損益

その他有価証券評価損益は、前年度末比 29 億円改善の△12 億円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第 1 四半期の経常利益及び四半期純利益は、平成 22 年 5 月 14 日に公表しました平成 23 年 3 月期第 2 四半期連結累計期間(中間期)の業績予想を上回っておりますが、今後の景気・地価の動向等、不透明な要因が多くあることから、現時点において業績予想の見直しは行っておりません。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

①減価償却費の算定方法

定率法を採用している有形固定資産については、年度に係る減価償却費の額を期間按分する方法により算定しております。

②貸倒引当金の計上方法

「破綻先」、「実質破綻先」に係る債権等及び「破綻懸念先」で個別の予想損失額を引き当てている債権等以外の債権に対する貸倒引当金につきましては、平成22年3月期の予想損失率を適用して計上しております。

③繰延税金資産の回収可能性の判断

繰延税金資産の回収可能性の判断につきましては、一時差異の発生状況について前連結会計年度末から大幅な変動がないと認められるため、同年度末の検討において使用した将来の業績予測及びタックス・プランニングの結果を適用しております。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

①資産除去債務に関する会計基準の適用

当第1四半期連結会計期間から「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号平成20年3月31日)を適用しております。

これにより、経常利益は3百万円、税金等調整前四半期純利益は165百万円減少しております。また、当会計基準等の適用開始による資産除去債務の変動額は287百万円であります。

②四半期連結損益計算書関係

「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号平成20年12月26日)に基づく財務諸表等規則等の一部を改正する内閣府令(平成21年3月24日内閣府令第5号)の適用により、当第1四半期連結累計期間では、「少数株主損益調整前四半期純利益」の科目を表示しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成22年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
資産の部		
現金預け金	256,301	268,884
コールローン及び買入手形	4,021	608
買入金銭債権	15	15
有価証券	454,987	450,499
貸出金	3,492,592	3,496,904
外国為替	3,059	7,140
その他資産	54,217	56,199
有形固定資産	32,114	32,522
無形固定資産	18,119	18,488
繰延税金資産	49,074	49,209
支払承諾見返	15,267	16,553
貸倒引当金	△48,365	△48,811
資産の部合計	4,331,405	4,348,213
負債の部		
預金	3,905,565	3,849,041
譲渡性預金	94,750	168,450
コールマネー及び売渡手形	151	170
借入金	50,971	51,830
外国為替	20	10
社債	66,224	66,242
その他負債	43,066	42,361
賞与引当金	987	1,982
退職給付引当金	6,163	6,255
役員退職慰労引当金	329	510
睡眠預金払戻損失引当金	404	383
偶発損失引当金	1,342	1,430
再評価に係る繰延税金負債	613	614
支払承諾	15,267	16,553
負債の部合計	4,185,857	4,205,837
純資産の部		
資本金	47,039	47,039
資本剰余金	66,360	66,875
利益剰余金	3,656	3,087
自己株式	△583	△582
株主資本合計	116,474	116,420
その他有価証券評価差額金	△1,287	△4,197
繰延ヘッジ損益	196	324
土地再評価差額金	851	851
評価・換算差額等合計	△240	△3,020
新株予約権	85	81
少数株主持分	29,228	28,894
純資産の部合計	145,547	142,376
負債及び純資産の部合計	4,331,405	4,348,213

(2) 四半期連結損益計算書
【第1四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)
経常収益	25,095	28,068
資金運用収益	19,605	22,429
(うち貸出金利息)	17,988	20,636
(うち有価証券利息配当金)	1,063	1,145
役務取引等収益	2,048	3,514
その他業務収益	3,396	1,968
その他経常収益	44	156
経常費用	25,940	23,103
資金調達費用	5,429	4,712
(うち預金利息)	4,466	3,704
役務取引等費用	1,479	1,893
その他業務費用	2,047	2,016
営業経費	8,560	11,868
その他経常費用	8,423	2,611
経常利益又は経常損失(△)	△845	4,964
特別利益	1	8
償却債権取立益	1	8
特別損失	3	305
固定資産処分損	0	2
減損損失	0	2
その他の特別損失	2	299
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期 純損失(△)	△847	4,667
法人税、住民税及び事業税	65	127
法人税等調整額	△1,361	225
法人税等合計	△1,296	352
少数株主損益調整前四半期純利益		4,315
少数株主利益	348	370
四半期純利益	100	3,944

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△847	4,667
減価償却費	1,001	992
減損損失	0	2
のれん償却額	—	184
貸倒引当金の増減(△)	1,236	△445
賞与引当金の増減額(△は減少)	△976	△995
退職給付引当金の増減額(△は減少)	47	△91
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△60	△181
睡眠預金払戻損失引当金の増減(△)	50	21
偶発損失引当金の増減(△)	9	△87
資金運用収益	△19,605	△22,429
資金調達費用	5,429	4,712
有価証券関係損益(△)	△933	651
為替差損益(△は益)	△0	1
固定資産処分損益(△は益)	0	2
貸出金の純増(△)減	30,838	4,312
預金の純増減(△)	87,074	56,524
譲渡性預金の純増減(△)	△83,400	△73,700
借入金(劣後特約付借入金を除く)の純増減(△)	△59,873	△860
有利息預け金の純増(△)減	15,352	△1,562
コールローン等の純増(△)減	584	△3,413
コールマネー等の純増減(△)	△19,972	△19
外国為替(資産)の純増(△)減	124	4,080
外国為替(負債)の純増減(△)	11	9
資金運用による収入	19,530	22,455
資金調達による支出	△3,365	△3,230
その他	△670	1,411
小計	△28,413	△6,984
法人税等の支払額	△433	△577
営業活動によるキャッシュ・フロー	△28,847	△7,562

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の取得による支出	△183,761	△146,464
有価証券の売却による収入	150,029	133,267
有価証券の償還による収入	27,615	10,960
有形固定資産の取得による支出	△415	△416
無形固定資産の取得による支出	△147	△150
その他	△12	32
投資活動によるキャッシュ・フロー	△6,692	△2,771
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△1,832	△3,807
少数株主への配当金の支払額	—	△0
自己株式の取得による支出	△0	△2
自己株式の処分による収入	3	1
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,829	△3,809
現金及び現金同等物に係る換算差額	0	△1
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△37,369	△14,145
現金及び現金同等物の期首残高	192,987	262,445
現金及び現金同等物の四半期末残高	155,618	248,299

(4) 継続企業の前提に関する注記

当第1四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)
該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

【事業の種類別セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)

	銀行業 (百万円)	リース業 (百万円)	その他事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
経常収益	22,530	2,546	616	25,693	(597)	25,095
経常利益 (△は経常損失)	△1,179	△75	409	△845	0	△845

(注)1. 事業区分は内部管理上採用している区分によっております。

2. 各事業の主な内容

- (1) 銀行業……………銀行業
- (2) リース業……………リース業
- (3) その他事業……………クレジットカード業、金融業

3. 一般企業の売上高及び営業利益に代えて、それぞれ経常収益及び経常利益(又は経常損失)を記載しております。

【所在地別セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)

全セグメントの経常収益の合計額に占める本邦の割合が90%を超えているため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

【国際業務経常収益】

前第1四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)

国際業務経常収益が連結経常収益の10%未満のため、国際業務経常収益の記載を省略しております。

【セグメント情報】

(追加情報)

当第1四半期連結会計期間より「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号平成21年3月27日)及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号平成20年3月21日)を適用しております。

①報告セグメントの概要

当行グループの報告セグメントは、当行グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、当行の経営事項及び業務執行に関する最高意思決定機関である経営会議が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものです。

当行グループは、当行に経営管理部門を置き、銀行業務を中心にリース業務などの金融サービスの提供を事業活動として展開しております。なお、「銀行業」、「リース業」、「その他事業」を報告セグメントとしております。

「銀行業」は、預金業務、貸出金業務、信用保証業務、為替業務を中心とした銀行業務を行っております。「リース業」は、リース業務を行っております。「その他事業」は、クレジットカード業務等「銀行業」、「リース業」以外の金融サービス業務を行っております。

②報告セグメントごとの利益又は損失の金額に関する情報

当第1四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)

(単位：百万円)

	銀行業	リース業	その他事業	合計
業務粗利益 ①	18,349	361	710	19,421
経費 ②	11,254	234	259	11,749
与信関係費用 ③	2,050	18	19	2,089
セグメント利益 ①-②-③	5,044	107	431	5,583

③報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
セグメント利益	5,583
セグメント間取引消去(△)	48
株式等損(△)益	△372
その他	△293
四半期連結損益計算書の経常利益	4,964

(注)1. 株式等損益=株式等売却益-株式等売却損-株式等償却

2. その他には、株式会社びわこ銀行との合併により生じたのれんの償却額△184百万円が含まれております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第1四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)

該当事項はありません。

平成23年3月期「第1四半期決算短信」補足資料

【目次】

1. 損益状況	【連結】	12 ページ
	【単体】	13 ページ
2. 自己資本比率（国内基準）	【連結】	【単体】 14 ページ
3. 金融再生法開示債権	【単体】	14 ページ
4. 有価証券の評価損益	【連結】	【単体】 15 ページ
業績予想計数	【連結】	【単体】 16 ページ
（ご参考）業容推移	【単体】	17 ページ

（注）以下に記載する金額は金額単位未満を切り捨てて表示しております。
また、金額が損失又は減益には△を付しております。

（決算計数と合算計数について）

平成22年3月1日に株式会社関西アーバン銀行は、株式会社びわこ銀行と合併いたしました。そのため、平成23年3月期「第1四半期決算短信」補足資料においては、前年同四半期との比較にあたり、以下の計数を用いております。

《損益》

○平成22年3月期第1四半期損益

[決算] = (関西アーバン銀行22年3月期第1四半期損益)

[単純合算] = (関西アーバン銀行22年3月期第1四半期損益)

+ (びわこ銀行22年3月期第1四半期損益)

《残高》

○平成21年6月末残高

[決算] = (関西アーバン銀行21年6月末残高)

[単純合算] = (関西アーバン銀行21年6月末残高) + (びわこ銀行21年6月末残高)

○平成21年3月末残高

[決算] = (関西アーバン21年3月末残高)

[単純合算] = (関西アーバン銀行21年3月末残高) + (びわこ銀行21年3月末残高)

1. 損益状況

【連結】

(金額単位：百万円)

		平成23年3月期 第1四半期	前年同四半期比		平成22年3月期 第1四半期 [決算]	平成22年3月期 第1四半期 [単純合算]
			[決算]比	[単純合算]比		
連 結 粗 利 益	1	19,288	3,194	△1,236	16,093	20,524
資 金 利 益	2	17,716	3,541	△284	14,175	18,000
役 務 取 引 等 利 益	3	1,620	1,051	737	569	882
そ の 他 業 務 利 益	4	△48	△1,398	△1,689	1,349	1,640
営 業 経 費	5	△11,868	△3,307	52	△8,560	△11,920
与 信 関 係 費 用	6	△2,044	6,186	6,822	△8,230	△8,866
貸 出 金 償 却	7	△48	△48	△47	-	△1
個 別 貸 倒 引 当 金 繰 入 額	8	919	8,716	9,167	△7,796	△8,248
一 般 貸 倒 引 当 金 繰 入 額	9	△2,584	△2,652	△2,469	67	△115
そ の 他	10	△330	170	170	△501	△501
株 式 等 関 係 損 益	11	△372	△370	△383	△2	10
そ の 他	12	△38	106	△37	△144	△0
経常利益（△は経常損失）	13	4,964	5,809	5,217	△845	△253
特 別 損 益	14	△296	△294	△347	△2	50
税金等調整前四半期純利益 (△は税金等調整前四半期純損失)	15	4,667	5,515	4,870	△847	△202
法人税、住民税及び事業税	16	△127	△61	△4	△65	△122
法人税等調整額	17	△225	△1,587	△1,615	1,361	1,390
少数株主損益調整前四半期純利益	18	4,315	3,866	3,250	448	1,064
少 数 株 主 利 益	19	△370	△22	△14	△348	△355
四 半 期 純 利 益	20	3,944	3,843	3,235	100	708

(注) 連結粗利益 = (資金運用収益 - 資金調達費用) + (役務取引等収益 - 役務取引等費用) + (その他業務収益 - その他業務費用)

与 信 関 係 費 用 (6)	21	△2,044	6,186	6,822	△8,230	△8,866
-------------------	----	--------	-------	-------	--------	--------

(連結対象会社数)

連 結 子 会 社 数	22	12	5	-	7	12
-------------	----	----	---	---	---	----

(注) 平成22年3月1日の株式会社びわこ銀行との合併に伴い、びわ銀リース株式会社、びわ銀カード株式会社、びわこ信用保証株式会社、株式会社びわこビジネスサービス及びびわ銀総合管理株式会社の5社を連結子会社としております。

【単体】

(金額単位：百万円)

		平成23年3月期 第1四半期	前年同四半期比		平成22年3月期 第1四半期 [決算]	平成22年3月期 第1四半期 [単純合算]
			[決算]比	[単純合算]比		
業 務 粗 利 益	1	17,034	3,009	△1,449	14,024	18,483
(除 く 国 債 等 債 券 損 益)	2	(17,206)	(4,182)	(11)	(13,024)	(17,195)
資 金 利 益	3	16,979	3,608	△245	13,370	17,224
役 務 取 引 等 利 益	4	185	689	375	△503	△190
そ の 他 業 務 利 益	5	△130	△1,288	△1,579	1,157	1,448
(うち 国 債 等 債 券 損 益)	6	(△172)	(△1,172)	(△1,460)	(1,000)	(1,288)
経 費 (除 く 臨 時 処 理 分)	7	△10,822	△3,017	458	△7,805	△11,281
人 件 費	8	△5,419	△1,687	137	△3,731	△5,556
物 件 費	9	△4,878	△1,175	309	△3,702	△5,187
税 金	10	△524	△153	12	△371	△536
実 質 業 純 (一 般 貸 倒 引 当 金 繰 入 前 ・ の れ ん 償 却 前)	11	6,211	△7	△990	6,218	7,201
コ ア 業 純 (除 く 国 債 等 債 券 損 益)	12	6,383	1,165	470	5,218	5,913
の れ ん 償 却 額	13	△184	△184	△184	—	—
一 般 貸 倒 引 当 金 繰 入 額	14	△2,422	△2,537	△2,366	114	△56
業 務 純 益	15	3,604	△2,728	△3,540	6,333	7,145
臨 時 損 益 計	16	796	7,853	8,066	△7,057	△7,269
不 良 債 権 処 理 額	17	1,309	8,087	8,246	△6,777	△6,936
貸 出 金 償 却	18	△47	△47	△47	—	—
個 別 貸 倒 引 当 金 繰 入 額	19	1,669	7,997	8,156	△6,327	△6,486
偶 発 損 失 引 当 金 繰 入 額	20	87	96	96	△9	△9
保 証 協 会 宛 負 担 金	21	△399	41	41	△441	△441
株 式 等 関 係 損 益	22	△372	△370	△381	△2	9
そ の 他 臨 時 損 益	23	△140	135	201	△276	△342
経 常 利 益 (△ は 経 常 損 失)	24	4,401	5,124	4,526	△723	△124
特 別 損 益	25	△325	△321	△372	△3	47
うち 固 定 資 産 処 分 損 益	26	△2	△2	△2	△0	△0
うち 減 損 損 失	27	△2	△1	△1	△0	△0
税 引 前 四 半 期 純 利 益 (△ は 税 引 前 四 半 期 純 損 失)	28	4,076	4,803	4,153	△727	△77
法 人 税 、 住 民 税 及 び 事 業 税	29	△13	1	8	△15	△22
法 人 税 等 調 整 額	30	△273	△1,493	△1,492	1,220	1,219
四 半 期 純 利 益	31	3,789	3,311	2,669	477	1,120
与 信 関 係 費 用 (14+17)	32	△1,112	5,550	5,880	△6,663	△6,993

2. 自己資本比率 (国内基準)

リスク・アセット等については、信用リスク・アセット額は標準的手法を、オペレーショナルリスク・アセット額は先進的計測手法を採用しております。

【連結】

(金額単位：百万円)

	22年6月末	22年3月末比	22年3月末	21年6月末 [決算]
	%	%	%	%
(1) 自己資本比率	9.36	0.28	9.08	10.30
Tier1比率	5.08	0.18	4.90	5.83
(2) 基本的項目 (Tier1)	130,667	4,097	126,570	120,688
(3) 補完的項目 (Tier2)	110,052	1,964	108,087	92,596
(イ) うち一般貸倒引当金	16,059	△83	16,142	12,932
(ロ) うち劣後ローン(債券)残高	93,333	2,048	91,285	79,000
(4) 控除項目	-	-	-	-
(5) 自己資本 計 (2) + (3) - (4)	240,720	6,061	234,658	213,284
(6) リスク・アセット等	2,569,464	△13,390	2,582,854	2,069,241
(7) 総所要自己資本額 (6) × 4%	102,778	△535	103,314	82,769

【単体】

(金額単位：百万円)

	22年6月末	22年3月末比	22年3月末	21年6月末 [決算]
	%	%	%	%
(1) 自己資本比率	9.56	0.27	9.29	10.48
Tier1比率	5.21	0.18	5.03	5.95
(2) 基本的項目 (Tier1)	132,922	3,978	128,943	121,628
(3) 補完的項目 (Tier2)	111,044	1,910	109,134	92,421
(イ) うち一般貸倒引当金	15,935	△67	16,002	12,757
(ロ) うち劣後ローン(債券)残高	94,450	1,978	92,471	79,000
(4) 控除項目	-	-	-	-
(5) 自己資本 計 (2) + (3) - (4)	243,967	5,888	238,078	214,050
(6) リスク・アセット等	2,549,659	△10,797	2,560,457	2,041,246
(7) 総所要自己資本額 (6) × 4%	101,986	△431	102,418	81,649

(注) 「Tier1比率」は、自己資本のうち資本金、剰余金等により構成される基本的項目を分子として計算したものであります。

3. 金融再生法開示債権

【単体】

(金額単位：百万円)

	22年6月末	22年3月末比	22年3月末	21年6月末 [単純合算]
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	77,294	△13,409	90,704	109,327
危険債権	56,458	△82	56,540	75,491
要管理債権	4,805	236	4,568	7,013
合計 (A)	138,558	△13,255	151,813	191,833
正常債権	3,385,809	2,587	3,383,221	3,384,138
総与信合計 (B)	3,524,367	△10,667	3,535,035	3,575,971
開示債権比率 (A/B)	3.93%	△0.36%	4.29%	5.36%
直接減額実施額	166,448	△1,201	167,650	154,747

(注) 金融再生法開示債権には、貸出金の他、支払承諾見返、仮払金その他の与信性資産が含まれております。

4. 有価証券の評価損益

【連結】

(金額単位：百万円)

	22年6月末					22年3月末			
	連結 貸借対照表 計上額	評価損益	22年3月末比			連結 貸借対照表 計上額	評価損益	評価益	評価損
			評価益	評価損					
その他有価証券	452,101	△1,266	2,903	5,385	△6,652	447,608	△4,170	2,230	△6,401
合計	452,101	△1,266	2,903	5,385	△6,652	447,608	△4,170	2,230	△6,401
株式	13,228	△1,659	△721	298	△1,958	14,722	△937	699	△1,636
債券	399,338	4,523	4,388	4,573	△49	390,340	135	880	△745
その他	39,534	△4,131	△762	513	△4,644	42,545	△3,368	651	△4,019

- (注) 1. 「その他有価証券」は、時価評価しておりますので、評価損益は、連結貸借対照表価額と取得原価との差額を計上しております。
 2. 有価証券のうち、その他有価証券として保有する変動利付国債については、「金融資産の時価の算定に関する実務上の取扱い」(企業会計基準委員会実務対応報告第25号平成20年10月28日)を踏まえ、合理的に算定された価額をもって連結貸借対照表価額としております。この結果、評価損益は22年6月末は826百万円、22年3月末は944百万円改善しております。

【単体】

(金額単位：百万円)

	22年6月末					22年3月末			
	貸借対照表 計上額	評価損益	22年3月末比			貸借対照表 計上額	評価損益	評価益	評価損
			評価益	評価損					
その他有価証券	452,464	△1,349	2,929	5,300	△6,649	447,945	△4,278	2,119	△6,397
合計	452,464	△1,349	2,929	5,300	△6,649	447,945	△4,278	2,119	△6,397
株式	13,196	△1,657	△722	297	△1,955	14,690	△935	697	△1,632
債券	399,826	4,533	4,389	4,583	△49	390,827	143	888	△745
その他	39,440	△4,224	△738	419	△4,644	42,427	△3,486	533	△4,019

- (注) 1. 「その他有価証券」は、時価評価しておりますので、評価損益は、貸借対照表価額と取得原価との差額を計上しております。
 2. 有価証券のうち、その他有価証券として保有する変動利付国債については、「金融資産の時価の算定に関する実務上の取扱い」(企業会計基準委員会実務対応報告第25号平成20年10月28日)を踏まえ、合理的に算定された価額をもって貸借対照表価額としております。この結果、評価損益は22年6月末は826百万円、22年3月末は944百万円改善しております。

平成22年5月14日公表の業績予想の見直しは行っておりません。
 なお、同予想計数は以下の通りです。

<業績予想計数>

【連結】

(金額単位：百万円)

	22年9月期	22年度予想	21年度比	21年度実績 [決算]
	経常収益	62,000	125,000	25,801
経常利益	2,000	5,000	44,290	△39,290
当期純利益	1,000	2,000	26,125	△24,125

連結自己資本比率	9%程度	9%程度		9.08%
----------	------	------	--	-------

【単体】

(金額単位：百万円)

	22年9月期	22年度予想	21年度比	21年度実績 [決算]
	経常収益	55,000	110,000	20,579
経常利益	2,500	6,000	43,779	△37,779
当期純利益	1,500	4,000	25,687	△21,687

(参考)

コア業純	11,000	25,000	3,879	21,120
実質業純 (一般貸倒引当金繰入前・のれん償却前)	11,500	26,000	2,238	23,761
業務純益	10,000	21,000	△2,363	23,363

与信関係費用	△8,000	△18,000	41,771	△59,771
--------	--------	---------	--------	---------

単体自己資本比率	9%程度	9%程度		9.29%
----------	------	------	--	-------

(注) 21年度実績は決算計数を記載しております。
 [決算] = (関西アーバン銀行の11ヶ月分 ※1) + (合併新銀行1ヶ月分 ※2)
 ※1 平成21年4月1日～平成22年2月28日
 ※2 平成22年3月1日～平成22年3月31日

(ご参考) 業容推移【単体】

(1) 預金及び譲渡性預金残高

(金額単位：億円)

	22年3月末	21年3月末比 [単純合算]	22年6月末	22年3月末比	21年6月末比[単純合算]	
					増減額	増減率
					合計	40,390
預金計	38,565	△93	39,131	566	△395	△0.9%
個人預金	30,000	27	29,803	△196	△293	△0.9%
法人預金	8,565	△121	9,327	762	△101	△1.0%
譲渡性預金	1,824	△848	1,087	△737	△741	△40.5%

(2) 貸出金残高

(金額単位：億円)

	22年3月末	21年3月末比 [単純合算]	22年6月末	22年3月末比	21年6月末比[単純合算]	
					増減額	増減率
					合計	34,970
消費者ローン	17,225	900	17,346	120	793	4.7%
住宅ローン	13,815	603	13,896	81	525	3.9%
その他ローン	3,410	296	3,449	38	267	8.4%
その他貸出金	17,744	△1,818	17,570	△173	△1,315	△6.9%
中小企業等 貸出金残高	32,325	△1,045	32,345	19	△690	△2.0%
中小企業等 貸出金比率	92.4%	△0.5%	92.6%	0.2%	△0.6%	—

(注) 平成22年3月末及び平成22年6月末については、平成22年3月1日の株式会社びわこ銀行との合併により受け入れた貸出金に係る時価変動額(評価損益)は考慮していません。

(3) 投資信託・年金保険販売額

(金額単位：億円)

	21年度 [単純合算]	20年度比 [単純合算]	22年4~6月	21年4~6月比[単純合算]	
				増減額	増減率
				合計	1,210
投資信託	781	366	231	120	108.5%
年金保険	429	50	195	70	56.4%

(参考) 投資信託預り資産残高

(金額単位：億円)

	22年3月末	21年3月末比 [単純合算]	22年6月末	22年3月末比	21年6月末比[単純合算]	
					増減額	増減率
					投資信託	2,593